

このシール形ロープは、他の平行よりと比べて外層素線が太いので、特に耐摩耗性に優れており、主としてエレベータ用として使用されています。

②ウォーリントン形 (Warrington)

各層の素線数は $1 + n + (n + n)$ のように表され、外層素線には大小2種類あり、外層素線数は内層素線数の2倍で、内外層の組合せによって隙間を少なくしてあります。

このウォーリントン形ロープは、最近ではあまり使用されていません。

③フィラー形 (Filler)

各層の素線数は $1 + n + (n) + 2n$ のように表され、外層素線数を内層素線数の2倍とし、内外層の隙間に内層素線と同数の細かいフィラー線が充填されています。

このフィラー形ロープは、柔軟性、耐疲労性、耐摩耗性のバランスが良く、平行よりロープのうちで最も広範囲に使用されています。

④ウォーリントンシール形 (Warrington Seale)

ウォーリントン形とシール形とを組み合わせたもので、耐疲労性が非常に優れ、また柔軟性に富み更に耐摩耗性にも優れているため、用途は広範囲にわたっています。

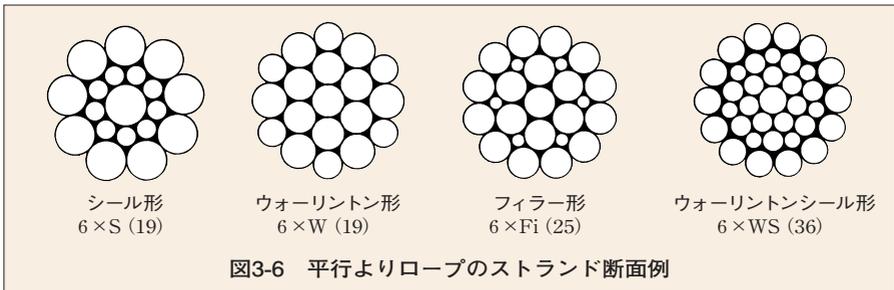


図3-6 平行よりロープのストランド断面例

③ フラット形

ロープの外周がフラットになるようにストランドを組立てたもので、このロープは表面が平滑なため、ドラムやシープの溝との接触による面圧が一般ロープよりも小さく、耐摩耗性に優れています。一般的には三角ストランドと蛤形ストランドとが最も多い。